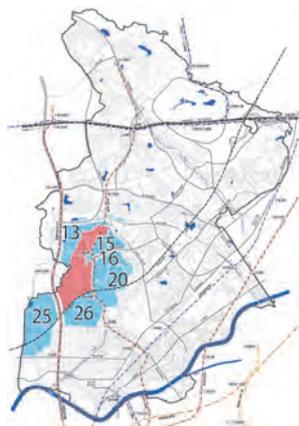
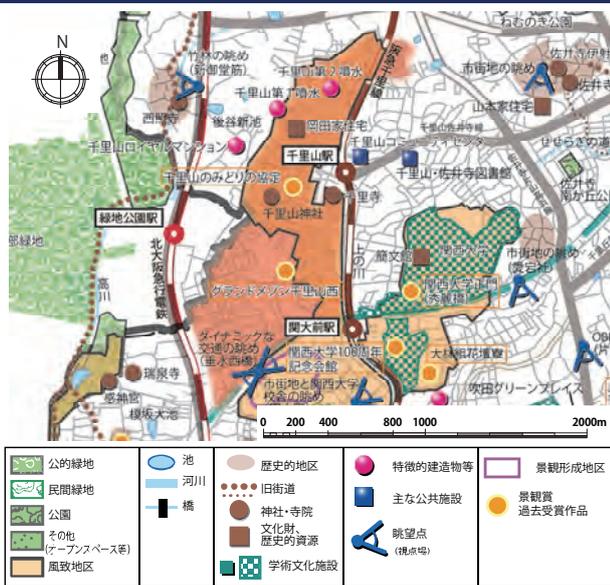


景域 14 千里山西界限



景域 14
配慮すべき近隣の景域



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

緑豊かで落ち着いたまちなみの住宅地

地形

丘陵に位置し、起伏があります。

歴史

千里山住宅地は大正末期に現在の阪急千里線の開通に伴い、イギリスのレッチワースをモデルに開発された閑静な戸建住宅地です。

洋風や和洋折衷の建築、目を引く煉瓦塀など、当初のモダンな建築様式を今もみることができ、成熟した住宅地の風情のある景観を形成しています。

千里山駅前にある千里山第一噴水、第二噴水は大正期に計画されたもので、放射状道路の中心となっており、木々に囲まれた空間に水を湛えている様子は、まちに潤いを与える大きな要素となっています。

また、宮殿建築の様式を持つ千里寺本堂や有形文化財の岡田家住宅など、歴史資源が継承されています。

土地利用

戸建住宅が中心で、その多くが風致地区に指定されており、石垣や生垣があり緑豊かな環境が形成されています。

都市活動・暮らし

千里山駅から千里山第一噴水にかけては、小さい商業店舗が建ち並ぶ、近隣住民が集う場となっており、にぎわいの中にも風格と落ち着きのあるまちの玄関口となっています。



千里山第一噴水



モダンなデザインの風格ある住宅地

景観特性

にぎわいのなかにも落ち着いたある駅前の景観をつくり、緑豊かな風格のある住宅地景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いたなかにも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷際に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 案内板や説明板の設置などにより、文化財などに親しみやすくする。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、風格ある質の高い住宅地の景観の形成を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 13, 15, 16, 20, 25, 26, 45